

OAMP から作成された CVP レポート ユーザがコールバック データベースにアクセスできない

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題の説明](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) のオペレーション コンソール (OAMP) を通じて新しく作成されたレポート ユーザがコールバック データベースにアクセスできない場合の問題の回避策について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP レポート サーバ
- CVP OAMP

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP レポート サーバ 10.5 以上
- CVP OAMP 10.5 以上

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題の説明

レポート ユーザは Unified CVP OAMP から作成できますが、Unified CVP Informix レポート データベースへの読み取り専用データベースアクセスが必要です。これらのユーザには、基本的な「ログイン ユーザ」のユーザ ロールがあり、すべてのテーブルに対する読み取りアクセスがあることが期待されます。問題は、これらの新しいレポート ユーザは、OAMP から作成されたデフォルトでないレポート ユーザでは、「コールバック テーブル」にアクセスできないことです。

解決策

問題は「[CSCuw43956](#)」に登録されています。

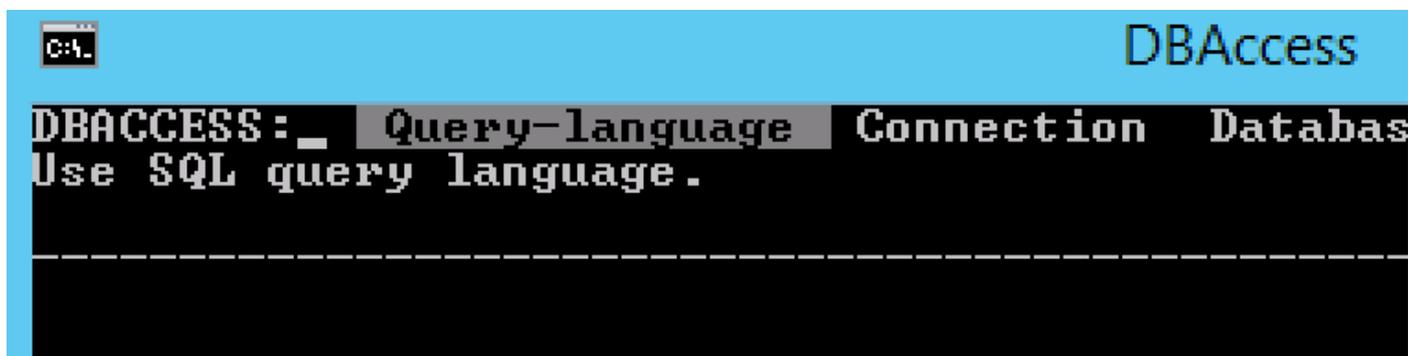
この問題への回避策として、新規ユーザにアクセス許可を手動で付与できます。

ステップ 1: レポート サーバでコマンドプロンプトから dbaccess を実行します。コマンドプロンプトを起動し、パス c:\db\informix に移動し、dbaccess と入力できます。



```
C:\db\informix>dbaccess
```

ステップ 2: dbaccess を使用してコールバックに接続します。



```
DBAccess
DBACCESS: _ Query-language Connection Databas
Use SQL query language.
```

```
C:\_
SELECT DATABASE >>_
Select a database with the

-----

callback@cvp
ciscoadmin@cvp
cvp_data@cvp
sysadmin@cvp
sysmaster@cvp
sysuser@cvp
```

ステップ 3 : 次のクエリ `SELECT * FROM SYSUSERS;` を実行します。
結果を検証し、<username> が C、R、または D としてユーザタイプで表示されるかどうかを確認します。

```
C:\_ DBAc
SQL: _ New Run Modify Use-editor Output
Run the current SQL statements.

----- callback@cvp -----

select * from sysusers
```

```
C:\>
DISPLAY: _ Next Restart Exit
Display next page of results.
----- callback@cvp -----

username      cvp_reporting
usertype      G
priority      5
password
defrole

username      cvp_dbuser
usertype      C
priority      5
password
defrole
```

ステップ 4 これらのユーザが表示されない場合は、下記のコマンドを実行して、ユーザに権限を付与します。

非 DBA アクセスの場合は、"GRANT CONNECT TO <username>;"

DBA アクセスの場合は、"GRANT DBA TO <username>;"